

2014年5月15日

非血縁者間骨髄移植・採取認定施設
移植認定診療科 連絡責任医師 各位

(公財) 日本骨髄バンク 医療委員会

初回輸注せずドナーリンパ球を全量凍結した事例について (再度のご報告とお願い)

本年2月14日に「初回輸注せずドナーリンパ球を全量凍結した事例について (ご報告)」を発出し、事例の報告と注意喚起を行いました。その後、同様の事例がさらに2例報告されました。

このため、当法人としましては、**DLIであっても、骨髄液/PBSCと同様に、初回輸注せずに全量を凍結することを認めていない**ことを再周知すると共に、DLI申請書およびDLIコーディネートに関する帳票に「初回輸注せずに全量を凍結することを認めない」旨、追加しました。

また、DLI採取日の輸注が困難となった場合には、速やかに当法人 移植調整部までご一報ください。

今一度、下記をご確認いただき、今後も格段の注意を払ってご対応くださいますようお願い申し上げます。

【DLI に関する注意事項】※「患者コーディネートの手引き」P55、「ドナーリンパ球輸注マニュアル 第2版」P7 参照

■初回輸注と凍結について

- ・BM/PB と同様、採血終了後、可及的速やかに輸注してください。
- ・初回輸注の残りを2回目以降のために凍結保存し、分注することは可能です。
輸注せず、全量凍結することは認められません。
- ・直前に輸注が困難となった場合、それが分かった時点で移植調整部に一報すること。

<問い合わせ先>

公益財団法人 日本骨髄バンク 移植調整部

TEL 03-5280-4771 FAX 03-5280-3856